

## 別紙

### 凸版情報加工株式会社福山工場温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

事業者名：凸版印刷株式会社

事業所名：福山工場（凸版情報加工株式会社）

##### (2) 事業所の所在地

〒720-2113 広島県福山市神辺町旭丘4

##### (3) 業種

業 種 名：オフセット印刷業（紙に対するもの）

事業コード：1511

##### (4) 事業所位置図

別紙（1）のとおり

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成19（2007）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から平成33（2022）年度までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

<p><b>【凸版情報加工株式会社 環境方針】</b>  凸版情報加工（株） 福山工場事業部は地球環境保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、環境活動の基本理念である「トッパングループ地球環境宣言」に従い、製造・販売のための業務を行うにあたり、環境に配慮した下記の活動を推進します。</p> <p>(1) 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響をとらえ、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、定期的に見直し、環境保全活動の継続的改善と向上を図る。</p> <p>(2) 事業活動に関わる環境関連法令、条例、その他の要求事項を順守し、環境汚染の予防に努めコンプライアンス経営を行う。</p> <p>(3) さまざまな活動を通じて、コミュニケーションを深め、地域社会との共生を図る。</p> <p>(4) 事業活動に関わる環境に与える影響のうち、次の環境保全活動を優先的に推進する。  ①工場拠点整備における環境アセスメント  ②電力およびガスの消費量抑制を中心とした省エネルギー  ③廃棄物の排出量抑制とリサイクル化  ④排水及び排ガスの環境負荷低減と自主基準値の順守  ⑤化学物質リスクアセスメント実施による適正管理と環境負荷低減  ⑥環境保全活動全体を通じた安全と防火・防災面の考慮</p> <p>(5) 内部監査を実施し、自主管理による環境マネジメントシステムの実行、維持、向上に努める。</p> <p>(6) この環境方針は、情報系製造事業部で働く全ての人に周知すると共に、必要に応じ外部にも公表する。</p>
--

### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

#### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成19年度	直近年度 平成27年度
二酸化炭素	6,400	5,697

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC ) ( PFC ) ( SF <sub>6</sub> ) ( NF <sub>3</sub> )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>），原単位置量（kg等），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成33年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	6,400	596.5	10.73	16.5	5,680	634.0	8.96
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	6,400	596.5	10.73	16.5	5,680	634.0	8.96
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)			4.802	30.0			3.329
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年1%以上の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電力使用量の削減	電力原単位を1%/年削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバータ機器への更新 (コンプレッサー・空冷チラー・空調)</li> <li>・工場内LED化</li> <li>・空調温度管理</li> <li>・休憩時間の消灯</li> <li>・デマンド制御による空調停止</li> </ul>
2			
3			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

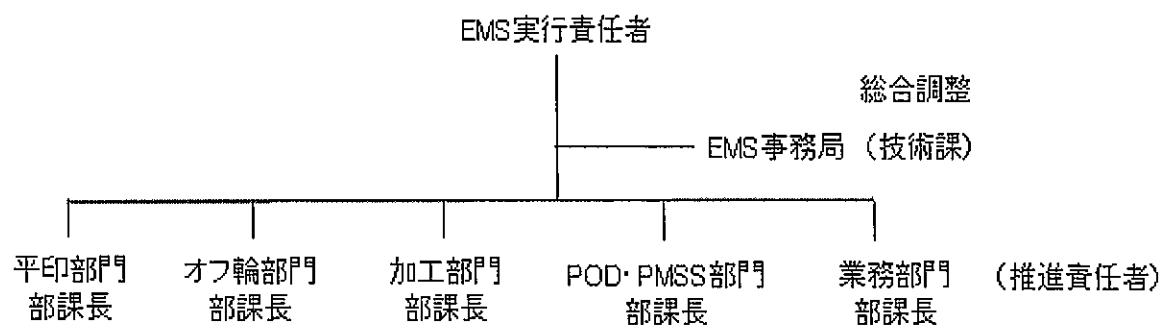
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	ゼロエミッションの実現	廃棄物原単位を2016年度比で2019年度までに3%削減 (1.16⇒1.12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再資源化の推進</li> <li>・リサイクル率の向上</li> </ul>
2	環境汚染の防止	特定化学物質の取扱量を100kg/年以下に維持・継続する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定化学物質含有洗浄剤の代替化推進</li> </ul>
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

当社の温室効果ガスはエネルギー起源CO2であることから、エネルギー使用量（燃料、電力量）にて管理することとし、毎月のEMS委員会にて評価・見直しを行い継続的改善を図る。

また、温室効果ガス削減計画の取組状況について毎年度末、経営者によるISO14001マネジメントレビューへ報告するとともに評価・見直しを行う。

### (3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画書は、事業所にて環境方針とともに閲覧可能とする。